

令和4年度最適化活動の目標の設定等

都道府県名： 秋田県
 農業委員会名： 由利本荘市農業委員会

I 農業委員会の状況(4年4月1日現在)

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 2 年 8 月 1 日

任期満了年月日 5 年 7 月 31 日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	24	23
認定農業者	—	17
認定農業者に準ずる者	—	1
女性	—	3
40代以下	—	4
中立委員	—	2

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	23	23	8

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	3,687
農業経営体数	3,036

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	3,510
女性	1,218
40代以下	203

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	767
基本構想水準到達者	170
認定新規就農者	18
農業参入法人	
集落営農経営	78
特定農業団体	
集落営農組織	78

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑	畑			計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	10,300	2,230	2,050	145	35	12,500

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

II 最適化活動の目標

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B)/(A)
	12,500 ha	8,815 ha	70.52%
課題	担い手や法人構成員の高齢化が進み集積が頭打ちになっている。		

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

② 目標

農地の集積の目標年度	5	年度	集積率	80	%
今年度の新規集積面積	189	ha	農地面積(C)	12,500	ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	9,004	ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)/(C)	72.0%	%

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

(2) 遊休農地の解消

① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	9 ha	0 ha	9 ha
課題	解消のための工程表を策定する。		

② 目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	0 ha
--------------------------	------

黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	所有者に粘り強く交渉する。近接のほ場の耕作者と交渉する。
-------------------------	------------------------------

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	0 ha
---------------------------	------

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	R 元 年度新規参入者	R 2 年度新規参入者	R 3 年度新規参入者
	1 経営体	2 経営体	4 経営体
	0.6 ha	1.2 ha	1.1 ha
課題	コロナ感染症の拡大により説明会等に直接出向くことができないが、県内、東北管内は可能な限り出向いて呼びかけたい。		

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

②目標

権利移動面積	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平均
	983 ha	857 ha	910 ha	917 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積			91.7 ha	

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	8 日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	23 人
		農地利用最適化推進委員の人数	23 人

(2)活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数	3 回
-------------	-----

取組時期	取組項目	強化月間の内容
8月	遊休農地の解消	利用状況調査により、対象農地の所有者に意向を確認する。
11月	農地の集積	各地区で契約更新に至らなかったほ場の受け手を確保する(訪問、電話等)。
12月	新規参入の促進	説明会に参加する。

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数	1 回
---------------	-----

開催時期	不明	相談会名	
参加者数	1	開催場所	仙台市
相談会の内容			
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※ 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)

